

岐阜県自然共生工法写真コンテスト 2026カレンダー



『谷あいの共生』 養老公園 (養老郡養老町養老)
養老山系の山あいから扇状地群に至る一帯の成功例で多数見られる治山・砂防工事の一つ、名勝養老渓流から流れ下る急流を制御する自然石の落差工と流路工が緑溢れる周辺の自然環境に溶け込んでいます。



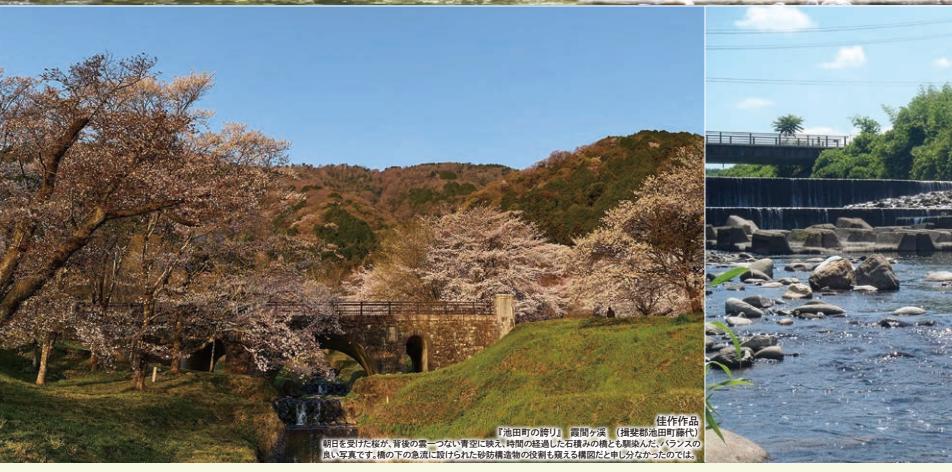
佳作品
『自然環境との調和』 長良川 (郡上市町徳永) 亂立した岩盤が、清流長良川らしい景観を維持しながら、凹凸に富んだ岩盤が露出しているため、石組みが横一列にならず、人工物が設けられているとは気づけないほどです。



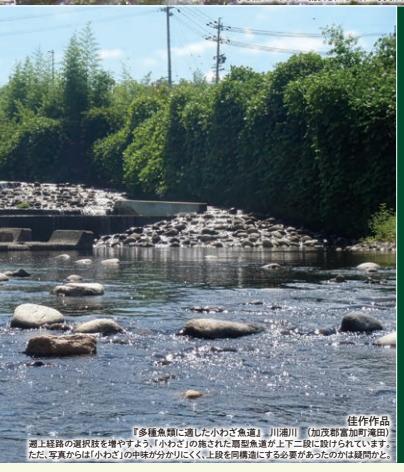
最優秀賞作品
『盛夏の円原川』円原川 (山県市円原) 武儀川最上流、清澄な円原川の川沿いに点在する僅かに開けた土地では、この夏の情景の美しい写真のように、自然条件に合わせて大規模に川に手を加えることなく、自然と共生する暮らしが続けれています。



優秀賞作品
『嘴一閃』 根尾川（本巣市）
根尾川には様々な魚道が設置され水生動物の往来を支えています。その魚道の躍動感のある流れを移動する魚がアオサギに捕食された一瞬の写真は、食食連鎖で繋がる根尾川の豊かな生態系を象徴しています。



『池田町の誇り』 震間ケ渕 （揖斐郡池田町藤代）
朝日を受けた桜が、背後の雲一つない青空に映え、時間の経過した石積みの橋とも馴染んだ、バランスの良い写真です。橋の下の急流に設けられた砂防構造物の役割も窺える構図だと申し分なかつたのでは。



『種多魚類に適した小わざ魚道』、川浦川（加茂郡富加町滝田）
遷上経路の選択肢を増やすよう「小わざ」の施された扇型魚道が上下二段に設けられています。
ただ、写真からは「小わざ」の中味が分かりにくく、上段を同構造にする必要があったのかは疑問かと。



岐阜県では、2001年から、県内全域で本格的に自然共生工法に取り組んできています。良い取組についての情報を共有し、広めていく方法の一つとして、2013年から写真コンテストを毎年実施しています。掲載の写真是2025年のコンテストにおいて評価の高かった6作品です。

